

【優 秀 賞】



氏 名 RANA SAMIKSHA
(ラナ サミクチャ)

国・地域 ネパール



在日期間 1年3ヶ月

学 校 神村学園専修学校

タイトル : 日本の神様

♪トイレにはそれはそれはきれいな女神様がいるんやで

皆さん、この歌をごぞんじですか。私は日本へ来てからもう一年たちました。日本とネパールは色々なことが違いますが、一番びっくりしたのはどこにでも神様がいることです。

初めてこの歌を聞いた時、私は「え、トイレにも神様がいる？どうしてトイレにいらっしゃいますか。いろんな場所があるのに、トイレが好きだからトイレに住むのかな」と思いました。後で調べてみたら、人々をよくないものから守るため、トイレに神様がいたそうです。トイレ掃除はみんなが嫌がることですが、それを自分から進んでやったらトイレはきれいになります。ですからトイレの神様は私をべっぴんさんにしてくれるそうです。

ほかにこんな話も聞きました。新しい家を建てた時、色々な神様が走って家を守りに来てくれます。神様の一人はたくさんお金やたからものを持っているので走ることができません。新しい家に着いた時トイレしか残っていませんからトイレの神様になりました。みなさん、重い袋を持って走る神様を想像してみてください。おもしろいですね。このトイレの神様はお金の神様なので、トイレ掃除をするとお金持ちになれるそうです。

日本ではトイレにも物にも神様がいると聞きました。大きくても小さくても古い物に神様がいます。だからリサイクルのお店があったりして、物が大切に使われているのかなと思います。

ネパールではこんなことはないです。神様がいます場所は台所、本、お寺と決まっています。台所の神様は家を守る神様です。ですからご飯を食べる時、水や花などのお供え物にさわってはいけません。女の人が台所に入ってはいけない日もあります。それは大変なので最近では台所と神様の部屋を別に作る家も多いです。

本には学問や芸術の神様がいらっしゃいます。サラスワティという女神様です。一年に一回お祭りがあって「勉強ができるようになりますように」とお祈りします。それからこの日は子供たちはピアスの穴をあけます。女の子は耳と鼻に、男の子は耳にあけます。日本の皆さんは「学問とピアス」と聞いておどろくかもしれません。ネパールでは勉強も、ダンスや歌などの芸術も同じ神様が守ってくださいます。ネパールの神様は忙しいですね。

ネパールにトイレを守る神様はいません。日本の考えはとても面白いです。でも、勉強ができるようになりたいとか、家族と幸せに暮らしたいとか、お金持ちになりたいという願いは、ネパール人も日本人もどこの国の人でも、同じだと思います。

そして今世界中の人々の願いは、新型コロナウイルスがおさまりますように、でしょうか。どこにいても宗教が違って生活スタイルが違って、この願いはきっと同じだと思います。同じ思い、異なる文化。文化が違って私達は同じ幸せを願っていると心から感じます。

ご清聴ありがとうございました。